

2023年度 事業報告

【『芥川龍之介文庫目録 増補改訂版』刊行】

1977年に発行し品切れとなっていた『芥川龍之介文庫目録』の増補改訂版を、2023年6月20日に刊行した(A5判、144p、1,000部、税込1,210円)。本目録は、旧版収載の芥川比呂志氏寄贈資料に加え、芥川瑠璃子氏、耿子氏から追加寄贈された芥川龍之介・芥川比呂志関係資料および、故葛巻義敏氏が保管に与り、その後当館に収蔵されるにいたった芥川龍之介関係資料から成る。

【教科書定番作品の映像教材「羅生門」「山月記」制作】

国語教科書の定番作品をテーマとした企画展「教科書のなかの文学／教室のそとの文学」の映像教材を制作し、第一作目として、2023年7月7日に芥川龍之介「羅生門」(監修:庄司達也 協力:郡山市こおりやま文学の森資料館・山梨県立文学館 制作:NHKエデュケーショナル)、第二作目として、11月1日に中島敦「山月記」(監修:山下真史 協力:神奈川近代文学館 制作:NHKエデュケーショナル)を教育現場に向けて無償でオンライン配信を開始した。なお、本事業は、一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会(SARTRUS)の授業目的公衆送信補償金制度共通的事業の助成を受けて実施した。

【資料収集】

所蔵資料総点数 1,349,202点

	図書	雑誌	特別資料	写真	視聴覚資料	寄託
本年度	3,068	4,320	3,578	0	0	2件
累計	510,527	723,145	109,858	5,425	247	74件(寄託累計15,959点)

【閲覧等サービス】 []内は前年度の数

閲覧	資料複写サービス	資料写真サービス	レファレンスサービス
日数232日 [233日] 人数1,480人 [1,536人]	1,174件 31,549枚 (うち学割143件 2,880枚) [1,171件 26,484枚 (うち学割192件 3,977枚)]	249件 1,018枚 [308件 934枚]	570件 [634件]

成田分館 開館日数 22日 [22日]、展示来観者 6人 [7人]、閲覧者 1人 [2人]

HP特別資料検索サービス 利用登録者 1,049人 [894人]

【展覧会】

① 春季特別展「島崎藤村の世紀—〈編集〉する／される作家」

2023年4月1日(土)～6月10日(土)(49日間、1,544人)

編集委員：中山弘明

5月3日「藤村と蓊助—政治、美術そして文学」開催 講師：加藤哲郎、春原史寛、中山弘明(参加59名)

川端康成記念室＝「川端文学のヒロインたち」

② 夏季企画展「教科書のなかの文学／教室のそとの文学 I—芥川龍之介「羅生門」とその時代」

2023年6月24日(土)～9月9日(土)(54日間、2,243人)

編集委員：庄司達也、紅野謙介

③ 秋季特別展「プロレタリア文化運動の光芒」

2023年9月16日(土)～11月25日(土)(49日間、2,252人)

編集委員：内藤由直、中川成美、村田裕和、林淑美

11月3日「美術と運動—プロレタリア美術運動再考」開催 講師：五十殿利治(参加59名)

川端康成記念室＝「川端康成が見出した作家たち」

④ 冬季企画展「新収蔵資料展」

2023年12月2日(土)～2024年3月30日(土)(71日間、1,229人) 編集委員：栗原敦、林淑美

⑤ 「震災を書く」展

2024年2月20日(火)～3月30日(土)(28日間、537人) ※新収蔵資料展と同時開催 編集委員：山崎一穎

【講座・講演会】

○ 文学館へ行こう！(文学館を知りたい方へ—利用案内講座) (参加者 計14名)

春季＝中止 秋季＝9月30日

○ 資料は語る 2023年度＜鉄道と文学＞

前期 1、4月15日(土) 高橋修：二葉亭四迷とシベリア鉄道 (受講者数：31名)

2、5月20日(土) 山口政幸：菊池寛と満鉄 (受講者数：30名)

3、6月10日(土) 篠崎美生子：芥川龍之介の小説と鉄道 (受講者数：33名)

後期 4、9月16日(土) 尾方一郎：内田百閒「阿房列車」 (受講者数：33名)

5、10月21日(土) 飯島洋：伊藤整における北方と鉄道 (受講者数：24名)

6、11月18日(土) 十重田裕一：新感覚派と鉄道の旅 (受講者数：28名)

○ 声のライブラリー (公益財団法人石橋財団 助成事業)

2022年度に続きVimeoでの無観客収録配信。10月31日～11月1日の2日間にわたり、4組8名の朗読・対談を収録。対談部分については英語字幕版も作成。3月30日よりオンデマンド有料配信を開始。

出演者：近藤ようこ×酉島伝法／川口晴美×高原英理／多和田葉子×高橋睦郎／吉村萬壺×頭木弘樹

○ 「教室」と「文学」をつなぐ—日本近代文学館を橋渡しとして

中学高校教員を対象に、教育現場での文学館活用法ミニレクチャーや意見交換会をおこなった。

7月15日(土)「羅生門」セミナー 講師：庄司達也 会場参加28名、ZOOM視聴37名

8月5日(土)総合セミナー 講師：小平麻衣子・紅野謙介 会場参加18名、ZOOM視聴19名

○ 第58回 秋の文学教室「文学者の日記を読む—記録と創作のはざま」

11月22日(水)読売新聞社後援、小学館協力 有楽町・よみうりホール(受講者 500名)

よみうりホール改修工事に伴う休館(1月1日～8月31日)のため、複数日の利用予約が不可能であることから、前年同様、一日開催とした。

講師 1時間目 斎藤美奈子 軍国少女の思索の記録—田辺聖子「戦中日記」を読む

2時間目 町田康 このように流浪する訳は

3時間目 川本三郎 文学作品としての「断腸亭日乗」

4時間目(座談会) 記録と創作のはざま 司会 紅野謙介

○ 文学館演習—日本近代文学資料の探索と処理 8月22日～26日(受講者 16大学ほか22名)

講師：石田仁志、伊藤一郎、大原祐治、紅野謙介、五味洵典嗣、須田喜代次、中島国彦、宮内淳子、山田俊治、和田博文、渡部麻実、事務局職員

○ 文学館職員研修講座 2024年1月24日～26日(受講者 4館4名)

【刊行物】

『慟哭3.11 東日本大震災 文学館からのメッセージ』2024年2月20日刊行 館編、青土社発行

『芥川龍之介写真集』2024年3月31日刊行 館編、秀明大学出版会発行

紀要「日本近代文学館年誌—資料探索」第19号 2024年3月20日刊行

『日本近代文学大事典』増補改訂デジタル版第3期 2024年2月21日JapanKnowledge公開